

## 中村吉右衛門(初代)

なかむらぎちえもん  
帝国大学始・1886 =

歌舞伎役者。6代尾上菊五郎と人気を二分後、独自の世界を歩むも、最後までライバル扱い。

東京浅草で、市村座の芝居茶屋萬屋吉右衛門の娘嘉女を母に、3代中村歌六の長男に生まれる。

帝国憲法発布1889 = 3歳 :

芝居を好まず、医師や画家を志したが、

日清戦争始・1894 = 8歳 :

日清戦争終・1895 = 9歳 :

八幡製鉄始・1897 = 11歳 : 市村座で初代吉右衛門を名のって初舞台。この年はじまった浅草座の子供芝居で人気を集め、

Bushidou・・1899 = 13歳 : 座頭から、

教科書疑獄・1902 = 16歳 : 歌舞伎座の座付となり、9代市川團十郎と同座して指導を受ける。

日露戦争始・1904 = 18歳 :

日露戦争終・1905 = 19歳 : \*名題に昇進。このころから1つ年上の6代尾上菊五郎とともに花形若手として人気上昇し、

満鉄発足・・1906 = 20歳 : 菊五郎と市村座に出演、

アライ 創刊・1908 = 22歳 : \*田村成義のすすめで、二人そろって二長町の市村座に入座。

両優の火花を散らす競演によって、菊・吉時代、二長町時代を築く。

明治天皇没・1912 = 26歳 :

大正政変・・1913 = 27歳 :

俳句、小唄など趣味も多く、小宮豊隆・安倍能成・久保田万太郎など交友も広く、一時、菊五郎と芸質の異なる点から、独自に小山内薫・小宮の後援のもとに、「新樹」など新しい種目を上演する。

原敬首相暗殺1921 = 35歳 : \*市村座を脱退し、松竹に復帰。

水平社結成・1922 = 36歳 :

関東大震災・1923 = 37歳 :

昭和にかけて9代團十郎の芸風を継承する古格を伝える時代物役者として重きをなしたばかりでなく、父3代中村歌六から受け継いだ上方風の芸風も加えた世話物にも独自の境地をひらいていった。吉右衛門の名調子といわれる口跡のよさと抜群のせりふまわしによって、悲劇の主人公を演じて卓越した芸を發揮した。吉田絃二郎作「二条城の清」「蔚山城の清正」「熊本城の清正」の三部作の清正を好演して、清正役者と称された。

満州事変・・1931 = 45歳 :

日中戦争始・1937 = 51歳 :

大政翼賛会・1940 = 54歳 :

日米開戦・・1941 = 55歳 :

創価学会検挙1943 = 57歳 : 中村吉右衛門一座を組織。

敗戦・・・1945 = 59歳 :

新憲法施行・1947 = 61歳 : 菊五郎とともに芸術院会員となり、

三大事件・・1949 = 63歳 :

朝鮮戦争始・1950 = 64歳 :

独立回復・・1951 = 65歳 : 「吉右衛門自伝」。文化勲章を受章。

TV放送始・・1953 = 67歳 : 吉右衛門主演の記録映画「盛綱陣屋」が完成後、

自衛隊発足・1954 = 68歳 : 没した。